

株式会社丸和の株式 100%のエスエス製薬株式会社（東証一部）への譲渡

（合意契約締結時期） 2001年10月

（当社の立場） 双方企業へ提案し、丸和側のアドバイザーとなる。

（案件の意義）

エスエス製薬は、健康食品事業を今後の注力分野と位置付け、独自での事業展開の難しさからM&Aによる展開を模索していた。一方、丸和は創立以来24年の歴史をもつ健康食品業界の老舗企業であり、業界の将来性には希望を持っていたが、相次ぐ大手企業の参入などにより単独での事業発展の将来性を考慮していた。このような両社に対し、共同して同業界での厳しい競争に打ち勝つための企業づくりを提案。両社の意向が合致した。（エスエス製薬側のアドバイザーは株式会社コーポレートディレクション）